



من الشعب الياباني
له خهلكى ژاپون

From the People of Japan

UN HABITAT
FOR A BETTER URBAN FUTURE

イラク・ミーサーン州に対する国内避難民向け仮設住宅の提供

9月21日、国連人間居住計画（UN-Habitat）はミーサーン州アマラ地区において、国内避難民向けの仮設住宅施設を建設し、同施設の提供を記念する式典が開催されました。日本政府からの資金的支援を受けた「イラクにおける国内避難民向け仮設住宅支援事業」の一環として新規に建設された同仮設住宅施設は、水道や電気設備を備えており600人以上の避難民を収容できます。

アリ・ダワイ・ミーサーン州知事は、同州が苦境に置かれている人々を支援することには道義的義務があるという信念から国内避難民を受け入れ、今後も受け入れを継続していくと述べて式典を開会しました。また、州知事は、州が土地及び水道と電気といったインフラを提供し、日本政府からの資金を得て UN-Habitat がプレハブ仮設住宅を設置する事業を完工するという日本政府と UN-Habitat そしてミーサーン州の協力関係に対する感謝の意を示しました。

岩井文男駐イラク日本大使は、日本は、人間が生存する何れの状況においても自由で、安全で最低限の生活水準が保障されるべきという人間の安全保障に着目していると述べました。この観点から日本は2014年の危機による人道危機の発生以来、2億3千万米ドル以上に及ぶ支援を提供してきており、岩井大使は、危機的状況の最善の解決策は、崩壊したインフラストラクチャーの再建を前提とした国内避難民の帰還であり、日本がイラクに寄り添い、危機を克服して国の安定と経済開発の実現に向けて多大な自助努力を払っているイラクの人々に対する支援を継続し続けることを強調しました。

エルファン・アリ UN-Habitat イラク所長は、女性を含む脆弱な国内避難民の不適切で不安定な居住環境は、次第に彼らを性とジェンダーに基づく暴力などの社会的な危険に晒すと指摘したうえで、イラク南部の各州では、寛大にも国内避難民を受け入れる努力を進めてきており、そうした努力に対する支援が不可欠であると述べました。また、このたびミーサーン州で提供された仮設住宅は安全かつ耐久性を備えていることにふれ、尊厳ある暮らしの確保が国内避難民の人々の居住環境の改善につながることを願うと共に、UN-Habitat は引き続き危機に苦しむ人々に対して尊厳ある暮らしを提供するためにイラク政府及び地方各政府と緊密に努力していくと確約しました。